

令和3年7月9日
岐阜県病虫害防除所

ナシ 黒星病の発生に注意！

本年は、開花後～果実肥大期にかけて降雨が多く、本病の感染好適条件が続いたため、6月下旬以降の調査において発病葉率が増加しています（表）。

7月8日発表の気象予報では、向こう1か月の降水量は平年並で、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されています。今後も降雨が続くと本病の発生に好適な条件となり発生量が増加すると予想されますので、以下の対策を行ってください。

表 令和3年度ナシ黒星病発生状況調査結果（予察ほ場 2ヶ所）

調査場所		発病葉率（％）	
		6月下旬	7月上旬
西濃地域	大垣市	11.3 (0.5)	10.8 (－)
中濃地域	美濃加茂市	1.8 (0.3)	3.7 (0.3)

注）（ ）内は平年の値を示す。

【耕種による対策】

- ・発病した葉や果実は二次伝染源となるため、見つけ次第切除してほ場外へ持ち出し、適切に処分する。

【農薬による対策】

- ・梅雨期間中に降雨が多いと発生の拡大が予想されるため、発病前から予防散布を行う。
- ・発病部位が認められる場合は、ほ場外へ持ち出し処分した後、薬剤散布を実施して防除効果を高める。
- ・薬剤耐性菌の出現を回避するため、系統が異なる薬剤でのローテーション防除に努めること。特に耐病菌の存在が報告されている薬剤（DMI剤）の連用を避けること。

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病虫害防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>